

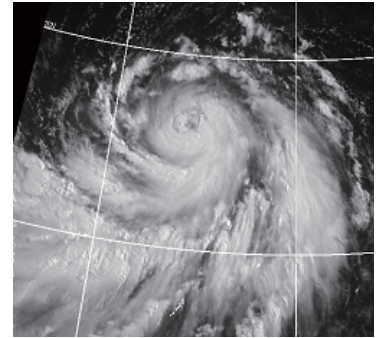
学ん DE 防災

風水害から身を守るために

「風水害」とは、強風と大雨および波浪※などにより起こる災害の総称です。全国各地では、毎年のように台風や集中豪雨による洪水や土砂崩れが発生し、都市部でも集中豪雨などにより、住宅街や道路などが冠水する被害が生じています。また、発達した積乱雲によって竜巻、大雨、雷などが発生し、様々な被害を及ぼしています。

風水害から身を守るために、災害の特徴を知り、どのような備えが必要か考えておきましょう。

※波浪 その場で吹いている風による波と、他の場所で風によって生じた波がその場所まで伝わった「うねり」が重なり合わさったもの。



台風の雲画像 (写真提供：気象庁)

北海道の災害

北海道は、これまでも台風や竜巻などによる大きな被害を受けています。夏から秋にかけては、前線や台風の影響により大雨が降り、洪水や土砂崩れなどの災害が発生しています。また、冬には、大雪や吹雪により交通機関が麻痺するなど、一年を通じて、気象の変化が私たちの生活に大きな影響を与えています。

平成15(2003)年8月 台風第10号

大雨による被害

台風と前線の影響により日高地方を中心に総雨量が多いところで約400ミリの大雨が降りました。河川のはん濫により、自動車も流されて死者、行方不明者が出たほか、家屋の浸水被害が発生しました。



(写真提供：北海道)

平成18(2006)年11月 竜巻

突風による被害

網走地方の佐呂間町付近を寒冷前線が通過する際、大気の状態が不安定となり、竜巻が発生しました。この竜巻により、長さ1km、幅200mの範囲にあった建物が倒壊し、死傷者が出るなどの被害が発生しました。



(写真提供：気象庁)

豆 知 識

積乱雲に注意！

雲は、空気が上昇気流によって上空に押し上げられて発生します。大気の状態が不安定になると、強い上昇気流により雲が成長を続けて積乱雲になります。

発達した積乱雲は、短い時間で強い雨を降らせるほか、竜巻などの激しい突風、雷、ひょうなど、狭い範囲に激しい気象現象をもたらすことがあるので、空の様子や最新の気象情報に注意しましょう。

雷が聞こえたらすぐ避難！

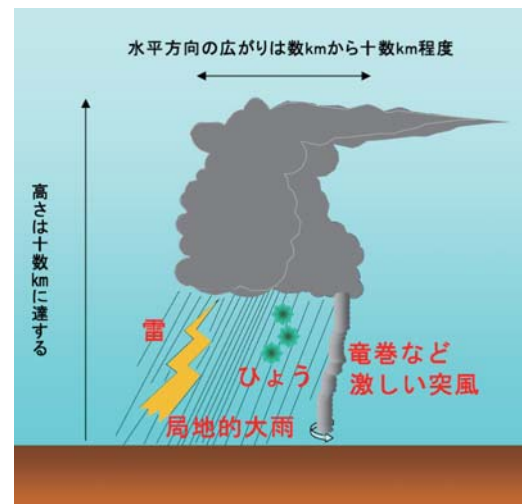
建物の中や屋根付きの乗り物（自動車など）へ避難しましょう。

カメラリ
危険！

雨宿りで木の下に入るのは危険です。

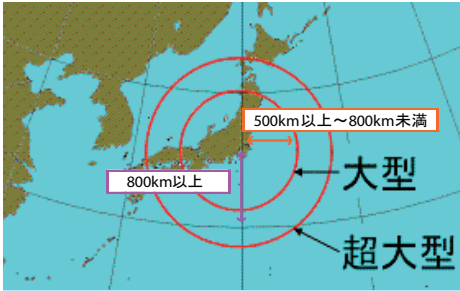
木や電柱からは4m以上はなれましょう。

避難する場所がないときは姿勢を低くしましょう。



(資料提供：気象庁)

台風情報に強くなろう！



図上の円形は、強風域を表します。この円内は風速 15m / 秒以上の強い風が吹く可能性のある範囲です。

(資料提供：気象庁)

台風は、強風や大雨により大きな被害をもたらします。台風に関する情報では、次のような気象用語を用いて警戒を呼びかけています。気象情報を活用し、台風から身を守りましょう。

〈大きさ〉

階級	風速 15m/ 秒以上の半径
大型 (大きい)	500km 以上～ 800km 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上

〈強さ〉

階級	最大風速 (m/秒)
強い	33 以上～ 44 未満
非常に強い	44 以上～ 54 未満
猛烈な	54 以上

台風の規模を大きさと強さで「大型で強い台風」などと呼んでいます。気象庁は台風の勢力を上表のように「大きさ」と「強さ」で表現しています。

〈風の強さと吹き方〉

予報用語	平均風速 (m/秒)	風の吹き方など
やや強い風	10 以上 15 未満	傘がさせない。取り付けが不完全な看板などが飛び始める。
強い風	15 以上 20 未満	転倒する人も出る。小枝が折れる。
非常に強い風	20 以上 25 未満	転倒する可能性が高い。鋼製シャッターが壊れ始める。
	25 以上 30 未満	立ってられない。樹木が根こそぎ倒れはじめる。
猛烈な風	30 以上	

〈雨の強さと降り方〉

予報用語	1 時間の雨量 (mm)	雨の降り方など
やや強い雨	10 以上 20 未満	ザーザーと降る。地面一面に水たまりができる。
強い雨	20 以上 30 未満	どしゃ降り。小規模の崖崩れが始まる。
激しい雨	30 以上 50 未満	バケツをひっくり返したように降る。道路が川ようになる。
非常に激しい雨	50 以上 80 未満	滝のように降る。多くの災害が発生する。
猛烈な雨	80 以上	恐怖を感じる。大規模な災害が発生する恐れが強くなる。

風水害に備えよう

1 気象情報の入手先を確認しておきましょう。

最新の気象情報は、何から入手できるかな？



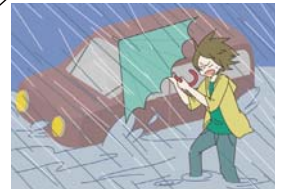
2 避難勧告や避難指示が発令されたらすぐに避難しましょう。

自宅や学校の近くの避難場所はどこかな？



3 危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう。

河川のはん濫や崖崩れのおそれがあるところなど、地域で危険な場所はどこかな？



発行：平成 23 年 10 月
 発行者：北海道教育委員会
 問い合わせ：北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）
 電話 011-231-4111（内線 35-670）
 URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/>

〈協力機関〉

- 北海道教育大学札幌校
- 札幌管区气象台
- 北海道高等学校PTA連合会
- 道都大学（イラスト提供 石田晴香 伊藤早穂）
- 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター
- 北海道PTA連合会
- 北海道総務部危機対策局危機対策課

シリーズ「学ん DE 防災」（中学生用）

〈地震編〉



〈津波編〉



左の URL（ウェブ）に掲載しています。